

平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
林産部門

地域と共存共栄し、高品質、高付加価値材を生産する製材工場

○氏名又は名称 山下木材株式会社製材工場（代表 山下 豊）

○所在地 岡山県真庭市

○出品財産物（木材）

○受賞理由

・地域の概要

真庭市は、岡山県北部のほぼ中央に位置し、明治中期以降、スギ・ヒノキの植林が本格的に行われるとともに、戦後まもなくから県内外の素材を集荷する原木市場とそれを加工する製品市場が発展し、西日本有数の木材集散地を形成している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

創業以来、注文材専門工場の伝統を活かしながら、顧客の多様で厳しいニーズに応えるすぐれた製材技術を有し、無垢材を中心に多品目・高品質材を生産する製材業者として、学校・公益住宅などの公共建物をはじめ、文化財修復から民間住宅工事に至るまで、県内外の建設業者に地域（美作）材を納入している。

・受賞者の特色

（1）徹底した品質管理による高付加価値化

独自の乾燥装置の開発・改良や乾燥スケジュールの確立を図るとともに、工場内に設けた養生スペースで一定期間含水率の均一化を図った上で、含水率の測定や強度試験を行うといった徹底した品質管理を行い、高品質な木材を生産しており、これらの努力により消費者の評価は高く、他社製品より高価格での販売を実現している。

（2）地域とともに歩む木材生産

山下木材は、20社を超える製材工場が操業する真庭市にあって、地域林業の活性化や同業他社との共存共栄をポリシーにしており、50年以上にわたって仕入れ丸太は直材（A材）のみで、地域ブランド「美作KD（人工乾燥）材」の確立に貢献するとともに、プレカット工場の操業により他社の製材品の加工にも応じ、地域全体での高付加価値化を図っている。

真庭市は、地域で積極的に木質バイオマス利活用を図る仕組みを構築する先進地であり、地域が協力して開催する「バイオマスツアー」においても製材工場を代表して見学者を受け入れ、地域のバイオマス産業発展の一翼を担っている。

・普及性と今後の発展方向

山下木材は、JASの認定、合法木材や持続可能な森林管理から生産された木材のみを使用していることの証しである「SGEC:CoC認証」を取得しており、製品並びに事業者としての信頼確保に妥協がない。

地域林業の活性化にも貢献しており、地域と共存共栄していく高品質、高付加価値材を生産する製材工場の模範として高く評価できる。